

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 名和賢美	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>2013年度に最も力を注いだのは、昨年度に引き続き、「市民教育という観点からの、論理的表現力・批判的思考力育成プログラム構築に向けた調査研究」であり、関連する事業の概要および教育研究の成果は、以下の通りである。</p> <p>(1) 高崎経済大学附属高等学校1年生の高経大見学時における作文指導(5月31日) 附属高1学年全員に対して高経大の大教室にて60分間の講義を行い、論理的な文章の書き方を具体的に指導した。受講前と受講後に課題を出し、1回の講義による生徒の論理的表現力の成長度合いについては、現在データを整理・分析中。</p> <p>(2) 附属高1学年文系・理系オナークラスに「経大生による作文指導講座」を開催(9月6日、10日、12日) 自らが担当する「社会学I」・「社会思想史I・II」を履修し、高い論理的表現力を身につけた大学生が、今度はその能力を附属高1年生オナークラス生徒に伝授するという企画であり、今年で3回目の実施。文系オナークラス25名と理系オナークラス30名、計55名が3日間の少人数制指導を受講。大学生のきめ細やかな指導により、オナークラス生徒の文章の論理性を大幅に高める一助となる。3日間の指導で生徒の論理性がいかに高まったかは、現在データを整理・分析中。</p> <p>(3) 経済学部カリキュラム等検討委員会の言語部会・日本語小部会の部会長(通年) 高経大1年生全員の批判的思考・論理的表現の汎用力の育成を少人数制で目指す、日本語リテラシー科目(2014年度より1年生必修科目として、前期40クラス、後期20クラスを開講)の新設に向け、部会を主宰。主に授業内容の検討と担当者の選定に関して逐条審議し取りまとめる。なお、今回の導入教育科目新設や大学における導入教育充実の必要性に関しては、以下の発表の機会もあった。</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 名和賢美「『日本語リテラシー』を教える」、一橋大学アカデミック・キャリア講習会2013年度第4回(2013年9月24日、於一橋大学)。◇ 名和賢美「『とりあえず非常勤』脱却のすすめ」、一橋大学アカデミック・キャリア講習会2013年度第7回(2013年12月19日、於一橋大学)。 <p>(4) 科学研究費基盤研究(B)「ポスト3・11的危機から見る<理性><欲求><市民社会>の再審」の研究分担者(通年) 「民主主義と日本社会への視座」班のメンバーとして、現代デモクラシーの源流である古代ギリシアにおいては市民教育としていかなる面が重視されていたか、というテーマに関して、当時、修辞学校を営み、市民教育に力を注いだイソクラテスをもとに考察中。</p>	

- (5) 第11回21世紀ぐんま教育賞選考委員会「杉の子賞（教職員の部）」選考委員
(12月中旬～1月中旬)

教育向上のために日ごろ実践・研究していることをテーマとする公募論文について、選考対象となった論文を評価・採点した上で、選考委員会の場で各賞決定の審議に携わる。

- (6) ラジオ高崎「ラジオゼミナール」への出演

第35回(1月18日)に「経済学部教養教育改革について」、第36回に「教養教育とデモクラシーとの関係について」をテーマとして、大学における今後の教養教育のあり方、そして教養教育と市民教育の深い関係性に関して、司会の内田アナウンサーと対話形式で説明。

2014年度の計画

前年度と同一テーマが、最重要課題となる。具体的には、以下の通りである。

附属高との高大連携事業では、附属高のスーパーグローバルハイスクール指定校採択を受け、事業全体の土台となる日本語リテラシーの涵養を目指し、昨年同様に、1学年全員への作文指導の講義、そして1学年オナークラスへの「経大生による作文指導講座」を実施予定。現在データ分析中である高校生への1回授業の効果については、分析・検討をさらに進め、論文にまとめ上げる予定。

本年度に経済学部で新設された日本語リテラシー科目については、経済学部教養教育委員会日本語部会の部会長として、1年目の運営を統括すると同時に、実施初年度で見出された課題を整理・検討し、次年度の授業内容充実に努める。本年度の授業内容については、2013年度における試験的授業との対比を含め、授業成果の検証を実施予定。

科研費の分担研究については、イソクラテスの教育に関する調査研究を、彼のテキストの解釈および先行研究の精査の両面から更に進め、論文にまとめ上げる予定。

2 その他の事項

- (1) 日本政治学会誌『年報政治学』公募論文1編の査読(11月中旬～12月上旬)
(2) 経済学部佐々木茂ゼミ3年生製品開発班に対して「関東学生マーケティング大会」提出論文への論文構成等に関わる助言(10月)